

社報「志氏」第135号

志 氏 神 社
四日市市大宮町14-6
TEL-FAX(059)331-0620



印刷所 水九印刷(株)
責任者 社報編集委員会



初詣



・大 祓 式 12月25日 9時～16時

人も車も大祓して新年を迎えましょう!

・歳 旦 祭 1月1日 10時より

かがり火で、無病息災を!

・初 詣 1月1日～7日

氏神さまに新年のごあいさつ!

・古札焼納祭 1月15日 9時～15時まで

(どんど焼)

古いお札に感謝の心を!

・節分祭・厄除祭 2月3日・4日 9時～15時

祓之宮で厄除御祈禱を!

各種祈禱受付(ご予約願います)

○新年祈禱

新しく年を迎え、今年一年を無事息災で清々しい気持ちで安全に過ごすことが出来るよう諸々の新年祈禱を元日より承っております。特に、厄除は年始より節分までに済ませるのが良いとされております。



◆新年安全祈願祭

一年の工事や作業、業務などの安全を願い、事業、商売の成功を祈念するお祭りです。また、新しい一年をご家庭の皆様が健康で幸せに過ごせますようお願いする新年家内安全の御祈願も承ります。

◆合格祈願

心身健全に勉学・研究に励み、入学試験や国家試験、採用試験や資格・就職試験などのさまざまな目標が達成できますように、ご神前にて合格祈禱をご奉仕致します。



◆厄除

厄除は「前厄・本厄・後厄」とあり、男性42歳と女性33歳は厄年の中でも一生の大厄とされています。不幸や災難を避け、「厄」が転じて「福」となりますよう、御祈願致します。

◆家内安全

家庭の平安を祈願するお祭りです。

◆交通安全・車祓

お車を替えられた時等の交通安全を祈るお祭りです。

◆初宮参り

子供が無事に誕生したことを氏神様に報告・感謝し、子供の健康と成長、今後のご加護をお願いするお祭りです。

◆病氣平癒

病、怪我を患っている方の回復を願うお祭りです。

◆除災招福・心願成就・開運道開き

種々の災いを取り除き、願いが叶い、幸福を招くお祭です。

地鎮祭は氏神様で

私たちが住んでいるのは大地の上であり、その大地は万物を育み命の糧をいただく大切なところ。その大地を使わせていただくため、建物を建て土木工事を行うにあたり、その大地をお守り頂いている神様をお迎えし、神々の恵みに感謝し、土地の平安と工事の安全を祈念する祭儀です。



編集後記

街歩きが好きで知らない町を歩いていると必ず地域の氏神様に出くわします。神社に向かって手を合わせたり、鳥居をくぐってお参りしたりしています。その時にいつも感じるのは境内に入った時に空気が変わるといふか何か神聖な気持ちになれるというか、神様に一歩近づいたような不思議な自分になれるのです。皆さんもそのように感じることはあるのではないのでしょうか。

志氏神社の南の参道を静かに登り境内へ、そして拝殿を目の前にした時、何か新鮮な気持ちになれるといいですね。

これからも地域の皆様が平穩無事に過ごされますようにと、お祈り申し上げます。

(と)

人も車も大祓式を

年越の大祓式

12月25日

午前9時より
午後4時まで

私たちや、私たちの車が、知らず知らずのうちに過ち犯しました罪や穢(けがれ)を、きれいさっぱりと祓(はら)い清める大祓式をとり行います。ぜひ当日ご参拝いただき、身についたり、車についた穢を祓い清めて、清々しい気持ちで新しい年を迎えましょう。

車形の形代には、住所・氏名・車番号を記入し、人形と同じように車の罪・穢を形代に移してください。

○御祈禱について

罪や穢を移していただいた人形・車形は、当日神社へお持ちいただくか、町内の担当の方にお渡しください。



志氏神社で神前結婚式を挙げて

私たちは志氏神社にて神前結婚式を挙げさせていただきます。緑あふれる境内、趣ある雰囲気のご社殿で式ができて本当にうれしく思います。

結婚式場での式も

検討しましたが、和装で結婚式を挙げるのであれば、厳かな雰囲気のある神社でお願いさせていただきます。ご縁があり、お祭りでも演奏される白鳳舎の皆様が、お祭りで演奏をさせていただきます。

生演奏をお聞きすることはなかなかないので、参列していただいた親族の方にも喜んでいただけたと思います。

生まれ育った氏神様で、結婚式を挙げることで、誠にありがとうございました。

今回は志氏神社にて結婚式をされた方にお話をお伺いさせていただきました。



○人形と車形について

身代りとして「人形」と「車形」をお配りしています。人形の形代には、ご家族の名前と生年月日を書き、息を三度吹きかけて一切の罪や穢を形代に移していただきます。



また社頭に設けた「茅の輪」をくぐって祓い清め、更には「忌火」で焚き上げいたします。

なぜお神札をおまつりするの？

お神札は、私たちの生活をお守りくださる大切な存在です。感謝とともに、日々の生活の平穏をお祈りしてお守りいただきましょう。

お神札とお守りの違いは？

お守りは一人ひとりが厄除、交通安全など願い身に着けるものに対し、お神札は空間をお守りいただく、お祓いいただくものであり、家内安全などを願って祀ります。



神棚のお供え



日々のお供えは米・酒・塩・水を図のようにお供えするのが基本ですが、出来るものからでかまいません。

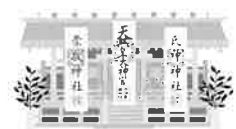


お神札の並べ方

可能であれば文字の書いてある面を、南または東向きにします。



手前を神宮大麻にし、氏神社のお神札、崇敬する神社の順



中央に神宮大麻、右に氏神社のお神札、左に崇敬する神社のお神札

神宮大麻、お伊勢さんで？氏神様で？

お伊勢さんのお神札は神宮大麻と呼ばれます。特に伊勢神宮でお受けいただく神宮大麻は授与大麻と言われ、個人的な祈願。そして氏神様でお受けいただく神宮大麻は頒布大麻と言われ、国の平安・全国のご家庭の平穏がそれぞれお祈りされています。それぞれこめられている意味が異なるため、伊勢神宮で授与大麻をお受けいただいても、氏神様で合わせて頒布大麻をお祀りしていただくことが良いとされます。

七五三縄頒布

12月25日～30日 9時～16時

七五三縄をお飾りして、明るいお正月をお迎え下さい。●神具は年中取り扱っています。



当地区では年末に神職が神社総代と共に各戸をお訪ねして特別にお清めお祓いをしてお神札を頒布しております。御不在の際は神社へお参りの上、社務所にてお受け下さい。新しいお神札は神宮大麻、志氏大麻合わせて二千円の御初穂料です。

秋祭・例祭 齋行

十月十四日 子どもみこし 奉斎
十五日 祭典 各種神賑行事齋行

宮司舞 浦安の舞 獅子舞 奉納



十四日には子どもみこしの奉斎が執り行われました。「わっしょい」の元気な掛け声により大神様のお力を羽津地区の皆様のもとへお届けいただき、各町内・各家庭の平和と安全を祈願していただきました。
十五日には祭典を齋行し、午後からはマジックショー(三重芸術愛好会)、大正琴(大正琴アンサンブル・リル)、津軽三味線(奏真SOMA)、クイズ・ゲーム・みんなでダンス(Namix&はづ子カウボーイ)、フラダンス(ホヌアラケア)の皆様が神賑行事として舞台上披露していただきました。また宮司舞、巫女の浦安の舞や、石北宮守大神楽保存会、中北條獅子連中、中南條獅子連中の獅子舞が奉納されました。羽津地区まちづくり推進協議会様にご協力いただき、これまで様々な夜店が開かれ、多くの参拝者で賑わいました。古くより続くお祭りが、賑やかな、楽しいお祭りとなりました。皆様のおかげさまで、一年で一番大きなお祭りを無事、執り行わせていただきました。



これからの神社行事

祝日には国旗を掲げよう

- 令和5年 12月中 御神札の町内頒布
- 12月25日 年越の大祓式
- 12月31日 除夜祭
- 令和6年 1月1日 歳旦祭
- 初詣
- 7日
- 1月15日 古札焼納祭
- 2月3日 節分祭
- 2月4日 厄除祭
- 2月11日 建国記念の日
- 2月17日 祈年祭
- 2月23日 天皇誕生日

東参道の石橋について

令和五年五月十一日に四日市員弁線の歩道整備工事の終了に伴い、東参道を復旧するにあたりお祓いをさせていただきました。

この道は通学路としても使われる道路ですが、参道につながる石橋が羽津用水上にかかっていたため歩道が途切れておりました。地域の皆様のお声があり、また歩道が広がることで羽津地区の皆様がご安全に行き来していただけるのであればと、当社と致しましてご協力させていただくことで工事がなされました。

令和五年一月十日にて工事に関わる、四日市建設事務所事業推進室道路課、(株)富洋組、(株)ストーンズ石仙の皆様がご参列され、工事

安全祈願祭を執り行わせていただきました。拜殿にて祝詞奏上、玉串奉奠をおこない、工事が行われる石橋と歩道、その周辺をお祓いし、工事のご安全をご祈念させていただきました。

そして一月十六日より五月末日まで、歩道整備の工事が行われました。石橋等がまず取り外しされ、工事により羽津用水が暗渠となりました。そのうち石橋を境内側に移設・設置して頂きました。長らく東参道は通行止めとなり、参拝いただく皆様にはご迷惑をおかけ致しましたが、無事工事が完了し、歩道が広くなりました。

羽津用水にかかる以前の姿とは少々変わってしまいましたが、無事移設していただきました。



▼ 工事安全祈願祭



▼ 工事の様子



▼ 竣工の清め祓い



工事後の完成した石橋



工事前の石橋

竣工後には、面影を残す石橋を通り皆様のご安全にご参拝いただけますことをお祈りし、お祓いをさせていただきました。

節分祭 2月3日(土)

厄除祭 2月4日(日)



令和6年 厄年の年齢

いずれも数え年ですが
満年齢の方も承ります

男性の厄年

前厄	本厄	後厄
24歳 平成13年 生まれ 2001年	25歳 平成12年 生まれ 2000年	26歳 平成11年 生まれ 1999年
41歳 昭和59年 生まれ 1984年	42歳 大厄 昭和58年 生まれ 1983年	43歳 昭和57年 生まれ 1982年
60歳 昭和40年 生まれ 1965年	61歳 昭和39年 生まれ 1964年	62歳 昭和38年 生まれ 1963年

女性の厄年

前厄	本厄	後厄
18歳 平成19年 生まれ 2007年	19歳 平成18年 生まれ 2006年	20歳 平成17年 生まれ 2005年
32歳 平成5年 生まれ 1993年	33歳 大厄 平成4年 生まれ 1992年	34歳 平成3年 生まれ 1991年
36歳 平成元年 生まれ 1989年	37歳 昭和63年 生まれ 1988年	38歳 昭和62年 生まれ 1987年
60歳 昭和40年 生まれ 1965年	61歳 昭和39年 生まれ 1964年	62歳 昭和38年 生まれ 1963年

方位除け 黒星の方に開運祈願の御祈禱を致します。

八方塞がり(三碧木星)

昭和18年 生まれ	昭和27年 生まれ	昭和36年 生まれ	昭和45年 生まれ
昭和54年 生まれ	昭和63年 生まれ	平成9年 生まれ	平成18年 生まれ

R6年

※2月3日・4日以外に御祈禱をご希望の方は社務所までご予約下さい

志氏神社 電話 059-331-0620

どんど焼き

1月15日(月) 9時~15時まで

一年間御守護いただいたお神札・お守等の授与品や、松の内(1月1日~14日)が過ぎ、取り外した正月飾りを小正月の15日に感謝を込めてどんど焼きします。

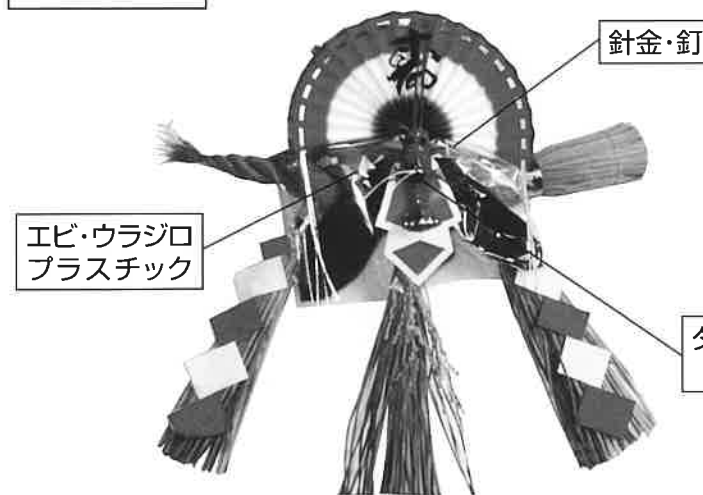


お焚き上げできないもの

餅・みかん・袋・針金
ぬいぐるみ・人形



ご注意



注連縄(しめなわ)

みかん・えび・ダイダイ・プラスチック・釘・針金・陶器は分別して市のゴミ収集時にお出し下さい。

ダイダイ・ミカン
ビニール

自然環境をまもるため皆様のご協力をお願い致します。